

デイジー教科書提供の取り組み(デイジーによる「読み」の支援)

音声教材の効率的な製作方法に関する調査研究事業 令和3年(2021年)

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会は、平成20年度からボランティア団体等と協力して小中学校の発達障害など読みの困難がある児童生徒にデイジー教科書の製作・提供を行っています



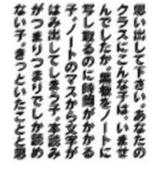
読みの困難さとは

文字がにじむ

文字がゆらぐ

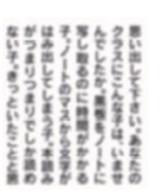
鏡文字になる

文字がかすむ



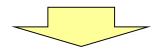


思い出して下さい。あなたのクラスにこんな子は、いませんでしたか。黒板をノートにんでしたか。黒板をノートに写し取るのに時間がかかる子。ノートのマスから文字がはみ出してしまう子。本読みがつまりつまりでしか読めない子。きっといたことと思



さらに見え方の問題だけでなく、

「記号」である文字を「音」として認識することが困難だったり、 名称を想起する速度が遅いことによって起こると言われています。

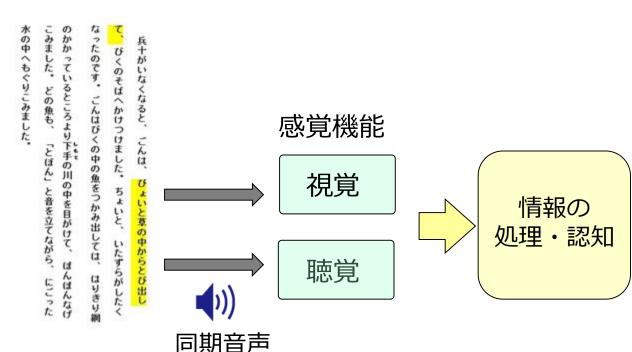


- □ 逐次読みになってしまう
- □ 勝手読みをしてしまう
- □ 単語の切れ目が判らない
- □ 漢字や熟語が読めない









現状(紙)

読むこと自体に一生懸命で 内容が入ってこない



ICT(タブレット)

読みの負担が減って 内容の理解に集中できる

- ・ハイライトで場所が分かる
- ・音声で効果的に伝わる

デイジー教科書の再生方法





デイジー教科書の特長

- ハイライトされたテキストと、音声、画像が同時 に表示され、どこを読んでいるかが確認できる
- 学習の進め方を考慮した順番に並べなおしてあるので、図や表が多い教科書も連続して再生すれば学習できる

(拡大や縮小しても読み順で迷わない)

- 目次や見出しをつかって、読みたいページに移動ができる
- 教科書と同じルビに加えて、総ルビ版を提供
- 再生ソフトの機能により、個々のニーズに合った 読み方が可能

(文字の大きさや色、背景色、再生速度等)



デイジー教科書の活用事例

利用場所	使い方の例
通常の学級	• 丸読み、音読
	• グループ学習
通級指導教室	• 新単元の予習
特別支援学級	●音読
	・漢字の読み確認
	• テスト、ドリル
	• タブレット操作習得
家庭	• 宿題の音読
	• 予習

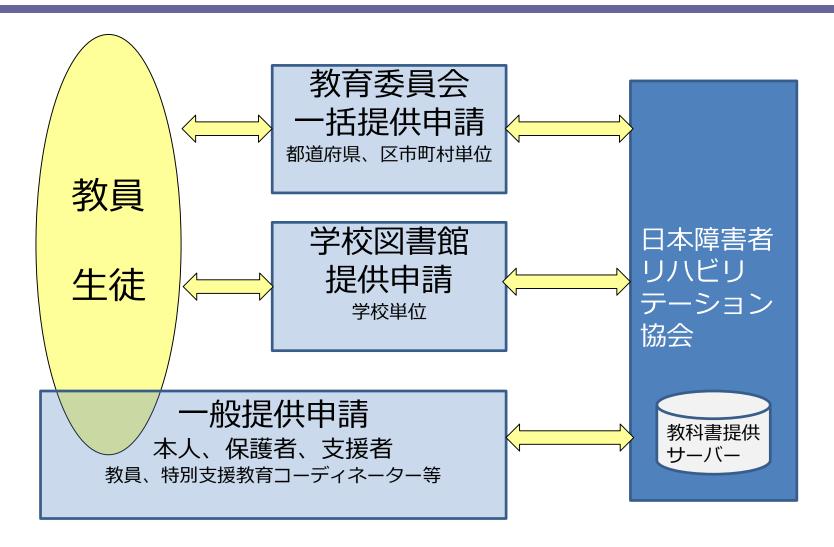


提供状況(令和3年7月現在)

- 教科書
 - ▶ 小学校 273冊(検定教科書数305冊:89%)
 - ▶ 中学校 132冊(検定教科書数145冊:91%)
- 申請者数
 - ➤ 一般提供申請4,757名(令和2年度末:9,217名)
 - 教育委員会、学校図書館申請 205団体(令和2年度末:222団体4,994名)



デイジー教科書の申請、利用の流れ



申請手続きはホームページ(スマホもOK)で!⇒デイジー教科書で検索





デイジー教科書の利用成果

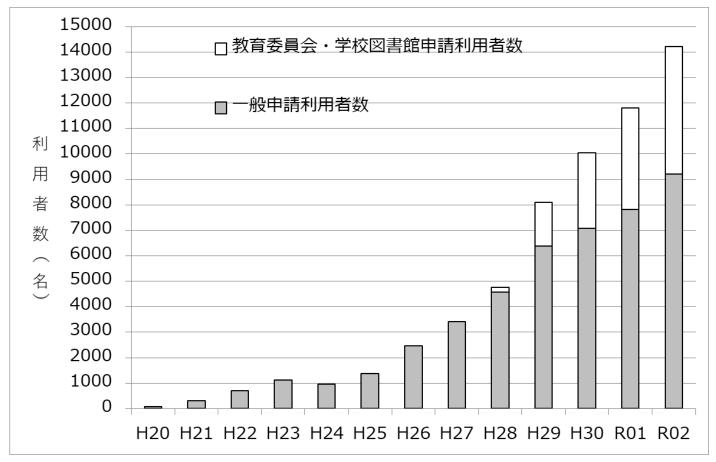
一般利用者アンケート結果より

- 動みがスムーズになった
- 文節の区切りが上手になった
- 動み間違えが少なくなった
- 読むことへの抵抗感が減った
- 文章への理解度が良くなった
- 読める漢字が増えた
- 自己肯定感や自尊感情が増した





デイジー教科書の利用申請の推移



令和元年度

令和2年度

教育委員会、学校図書館申請: 3,973名

一般申請: 7,832名

合計:11,805名



5,007名

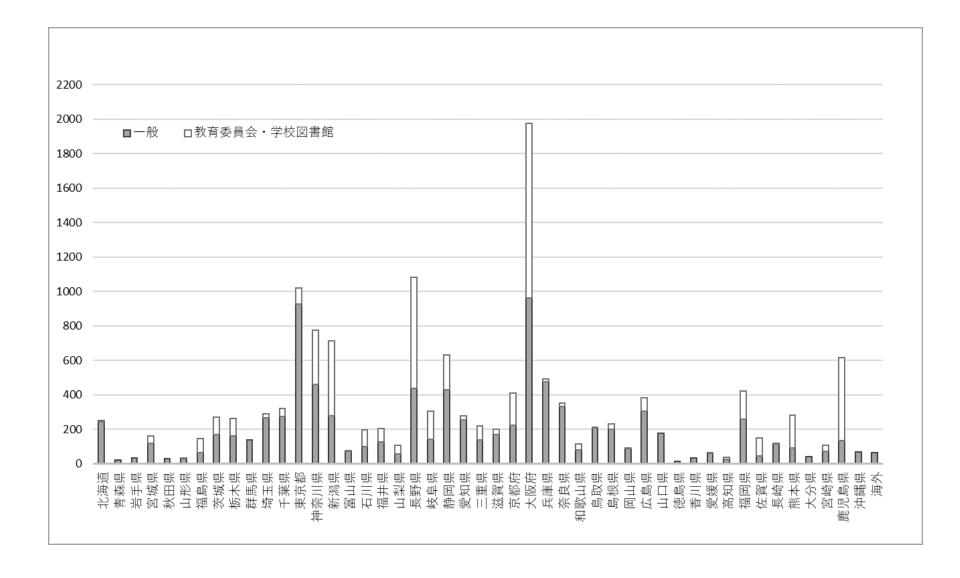
9,204名

14,211名



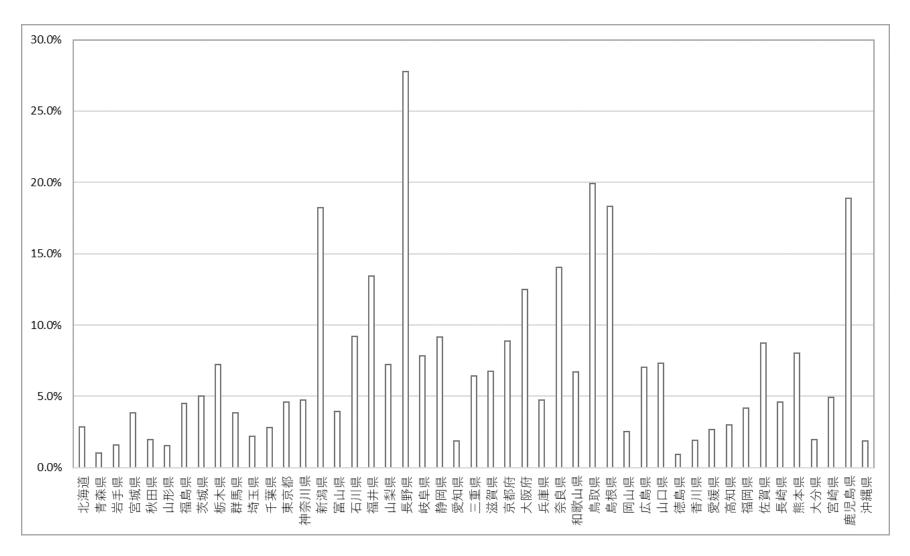


令和2年度都道府県別デイジー教科書利用者数





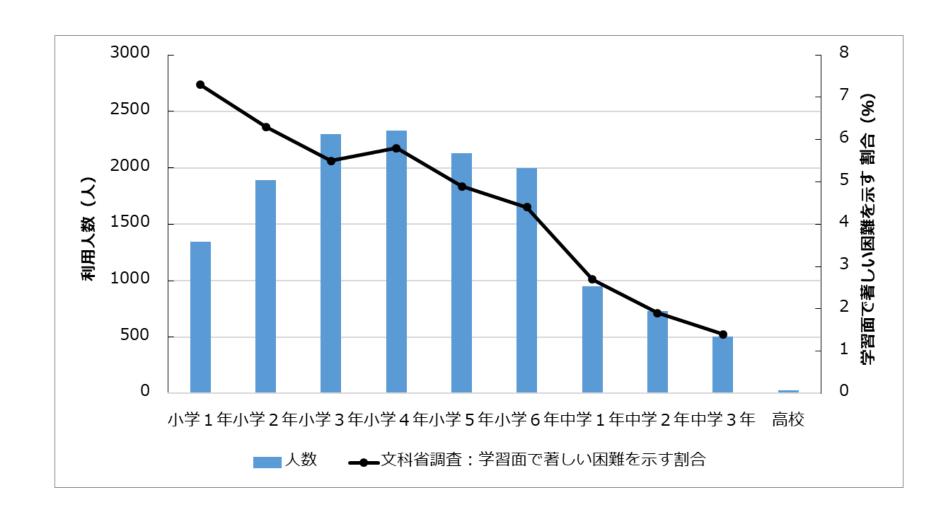
令和2年度都道府県別デイジー教科書普及率



普及率=分子:デイジー教科書利用者数、分母:児童生徒の総数 x 2.4%



令和2年度利用者学年内訳



平成24年度12月「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする 児童生徒に関する調査について」より学習面で著しい困難を示す割合を参考に提示

